

水ノ塔山&籠ノ登山山行報告

【山行日】2023年10月18(水) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 6:00

【費 用】マイカー1台 : 5,000円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL小松原

大塚、野口

【コースタイム】岩舟支所P6:00=高峰温泉

P8:00/8:15~水ノ塔山 9:10/9:30~籠ノ登山

10:00/10:25~兎平 10:50/11:05~雲上の丘

11:25/11:40~見晴岳 11:45/12:30~鏡池

12:45/12:50~兎平 13:30~高峰温泉

P14:15/14:25=岩舟支所P17:15



10月15日に計画したが雨の為中止になり、18日にスライドして実施した。平日山行の為参加者が少なく、4名での山行となった。岩舟支所を6時に出発し、北関東道から上信越道を走り小諸ICで降り、県道79号線からチェリーパークラインを通過して高峰温泉に着く。高峰温泉手前の駐車場に車を止め、トイレとストレッチを済ませて出発する。高峰温泉前から標識に従って登山道に入り、カラマツ林の道を緩やかに登り始める。しばらく登るとうぐいす展望台と呼ばれる場所に出て、小休止して衣服調整と水分補給を行う。ここからも砂礫の道や樹林の中の尾根道を登り、次第に高度を上げて行く。カラマツ林を抜けると、道に岩が混ざりはじめ、やがて露岩を越えて登るようになる。大きな岩をいくつか越えて、登り切った稜線上に水ノ塔山の標識が立つ。およそ山頂とは思えない場所だが、南側に展



望が開け休憩を取って一息いれる。ここから籠ノ登山への道は尾根の北側を進み、ハイマツと岩の歩きにくい道を下ると崩壊地の上に出る。赤ゾレと呼ばれる崩壊地の上で、展望が良く気持ちよく歩いて行く。初めて登る方達は、「ウワ~こんなに展望が良い山なんだ！」と嬉しそうに歩いていた。展望が良い稜線を下り、鞍部から東籠ノ登山への登りが始まる。登りはじめから我輩のフクラハギが痛く、登れるか不安になるが我慢して登り続けた。樹林帯の急坂を登り、展望が開けると東籠ノ登山の山頂に着く。広々とした山頂は展望が素晴らしく、南側には池の平と三方ヶ峰、西側には西籠ノ登山、湯の丸山から烏帽子岳など望める。

望が開け休憩を取って一息いれる。ここから籠ノ登山への道は尾根の北側を進み、ハイマツと岩の歩きにくい道を下ると崩壊地の上に出る。赤ゾレと呼ばれる崩壊地の上で、展望が良く気持ちよく歩いて行く。初めて登る方達は、「ウワ~こんなに展望が良い山なんだ！」と嬉しそうに歩いていた。展望が良い稜線を下り、鞍部から東籠ノ登山への登りが始まる。登りはじめから我輩のフクラハギが痛く、登れるか不安になるが我慢して登り続けた。樹林帯の急坂を登り、展望が開けると東籠ノ登山の山頂に着く。広々とした山頂は展望が素晴らしく、南側には池の平と三方ヶ峰、西側には西籠ノ登山、湯の丸山から烏帽子岳など望める。



さらにその向こうには雪化粧した北アルプスの山々が連なり、皆さんから「エ～北アルプスがこんなに良く見えるんだ～」と感動の声が上がる。皆さん嬉しそうに景色をスマホに収め、柿や菓子をいた



だきながら展望を楽しんだ。展望を楽しんだら池の平に向かって下山し、ガレた登山道からカラマツ林の中を下ると林道に出て兎平に着く。

広い駐車場と大きなトイレがあり、トイレを済ませたら池の平入口の東屋で休憩する。ここからは見晴歩道を登り、見晴岳へ向かう。途中、村界の丘や雷の丘、雲上の丘広場があり、池の平や北アルプスの展望が素晴らしい。見晴岳山頂に着き、ここでランチタイムとする。お湯を沸かしてカップ麺やみそ汁を作り、おに

ぎりやパンを美味しくいただく。Oさんの肉団子やキュウリの漬物が出て、豪華なランチとなった。

ランチが済んだらすぐ先のピークに行き、北アルプスの展望を存分に楽しんだ。

北は白馬岳から南の乗鞍岳まで、長大な北アルプスの峰々が連なり、すこし離れた御嶽山まで見られた。槍ヶ岳や穂高岳、鹿島槍ヶ岳など山座同定して大満足の様子。展望を楽しんだら記念写真を撮り、三方見晴歩道を通って池ノ平へ下る。鏡池に寄って草紅葉を楽しみ、湿原の中に付けられた木道を歩いて行く。途中、兎平へ行く道が工事で通行止めになっており、東歩道へ大きく迂回させられた。足が痛い我輩に



はとともつらく、ようやく兎平へ着き休憩する。足を休めたら林道を歩き、高峰温泉に向かう。我輩の足にとっては林道歩きが一番つらく、何とか高峰温泉の駐車場に着くことが出来た。この時は足の痛みの原因が何なのか分からなかったが、後に耳鼻科で処方された薬の副作用だと分かった。高峰温泉で靴を履き替えたら帰路につき、往路を戻って岩舟支所に向かう。途中、横川SAに寄ってトイレと買い物を済ませ、予定より少し遅れて岩舟支所に帰着した。